

3.2 作成方法の一例

以下の方法で PDF 原稿を作成できます。

- 直接 PDF ファイルを作成するコマンド。

```
pdflatex foo.tex
```

- dvi ファイルから PDF ファイルを作成するコマンド。

```
dvipdfm -e foo.dvi
```

-e オプションを使って、全てのフォントを埋め込んで下さい。

4 PDF 原稿の提出先・締切

提出先

http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2005_waseda/
の原稿作成要項のページから PDF 形式で原稿を提出してください。

締切 2005 年 4 月 25 日 (月)

上記の WEB 経由以外では、原稿は受け付けません。

5 本文の書き方

本文は原則として 2 段組でお書きください。ただし、図表の配置などの関係でうまく行かない場合は、1 段組みでも構いません。別のフォームを用意しています。また、本テンプレートは A4 サイズです。予稿集用に印刷するときには B5 サイズに縮小されることに注意してください。

5.1 フォントについて

JASMIN2005 において、用いるフォントは原則としてこのテンプレートに倣ってください。このテンプレートでは、和文は見出しのみ MS ゴシック (太字)、その他は明朝体。英文はすべて Times New Roman としています。

5.2 カラーと画像データについて

予稿集は、白黒印刷をします。PDF 原稿中の文字・グラフは黒色にして下さい。カラーの PDF 原稿を提出されても白黒印刷となります。

5.3 図表について

図表の番号は、次頁の例を参考に図 1, 表 1 などとしてください。図はカラーでも結構です。ただし、論文として投稿したものは、印刷の時点で原則としてモノクロになります。2 段組で原稿を作成した場合でも、本文中の図表は 2 段にまたがっても構いません。

5.4 数式について

以下に数式のサンプルを示します。

$$p(\lambda | y) = \frac{p(y | \lambda)p(\lambda)}{p(y)} \quad (1)$$

数式にはこの例のように右隅に番号をつけてください。

JASMIN

図 1: 図の例

表 1: 表の例

Part	Font size (point)
Title (Japanese)	17
Title (English)	15
Author	11
Abstract	10
Body	11

5.5 参考文献について

雑誌は、このテンプレートの例の [1], [2] に倣ってください。著書は、このテンプレートの例の [3], [4] に倣って、和・英文ともに、著書名、書名、発行社名、発行年（西暦）の順に記載してください。

6 まとめ

以上、本テンプレートにしたがって原稿作成をお願いいたします。不明な点に関しましては、jasmin-all@list.waseda.jp まで、ご連絡ください。

参考文献

- [1] 根来龍之, 木村誠, “インターネット・プラットフォームビジネスの産業発展への貢献：情報交換・知識化モデルによる事業分類,” 経営情報学会誌, Vol.9 No.3, pp.67–87, 2000.
- [2] Harker, P.T. and Vargas, L.G., “The Theory of Ratio Scale Estimation: Saaty’s Analytic Hierarchy Process,” *Management Science* Vol.33: 1383–1403, 1987,
- [3] 平澤茂一, コンピュータ工学, 培風館, 2001.
- [4] Feller W, An Introduction to Probability Theory and Its Applications, John Wiley & Sons, Inc., 1966.